

HALをご存知ですか？日本が世界に誇る最先端の機能再生拡張補助ロボットです。脳から出る電位信号が筋肉に伝わることで体は動きます。脊髄損傷など、病气や老化によって筋肉がこの電位信号を読み取れなくなり体が動かなくなります。

ロボットHALはその電位信号を読み取り（例えば「歩こうとする意思」）、先導して補助し、（例えば足を）動かします。それを繰り返していくうちに筋肉が忘れてしまった電位信号の刺激の意味を次第に思い出し、理解できるようになり、HALを着装しなくても、徐々に歩けるようになるという画期的な仕組みです。

詳しくは <https://www.cyberdyne.jp/products/HAL/index.html> を参照ください。

筑波大学の山海嘉之教授を中心に開発されました。山海先生は大学教授でありながら上場企業の社長でもあるという日本では超ユニークな存在です。学者自ら旧態依然とした社会の規制と戦って、HALを日本に、世界に広げようとしていらっしやいます。

今回私が所属する「青山学院大学ジェロントロジー研究所」でHALを実際に装着して、体験する会が開かれました。父も姉も理系オタクという家系の血が騒ぎ、当日私は興奮状態です。写真をご覧のようにHALを着装するとまさに朝倉ガンダム誕生！世界最先端のロボットと“がっぷり四つ”に組める

## 世界初の装着型サイボーグ「HAL」

文 朝倉匠子 text by Shoko Asakura

チャンスなど滅多にあるものではありません。

HALは脊髄損傷などいくつかの病気に保険適用されています。アメリカでもFDA※の認可が下りました。イギリスやドイツではリハビリの現場で積極的に使われています。日本でも介護現場で使われはじめましたが、効果が出て、介護度が下がると施設が儲からなくなるという矛盾が起こり、現在その規制と格闘中。効果があっても、社会のシステムが広がり阻止するという矛盾をHALのケースだけでなくさまざまな場面で乗り越えるには山海先生のような超スマートで超タフな人材が必須です。

すっかりHALに惚れ込んだ私は1月末に山海先生の会社を訪れることに。次回はさらに熱いレポートをお届けしたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

※Food and Drug Administration (アメリカ食品医薬品局)



HALを着装してみました



### Profile

青山学院大学文学部英米文学科卒業  
学生時代よりモデルとして活躍、その後テレビ司会、経済インタビューなどメディアで活躍し、渡米。カリフォルニア大学で「NPO マネジメント」及び「ジェロントロジー（加齢学）」を学び、帰国後「エイジングスペシャリスト」として活動を再開。アメリカでの学問を基に健康で幸せに年齢を積み重ねていく「アクティブエイジング」を提唱している。2002年スイスのオメガ社より社会に貢献する女性として緒方貞子氏、黒柳徹子氏、吉永小百合氏らと共に「オメガ賞」を受賞。現在NPO法人アンチエイジングネットワーク理事、母校青山学院大学ジェロントロジー研究所研究員、ウォーカルグループ「The Fujiyama Sisters」リーダーと多岐の分野で活躍中。